

令和7年2月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年2月分について、輸出は「自動車の部分品」、「金属製品」などが減少したものの、「原動機」、「家庭用電気機器」、「電気計測機器」などが増加したことから対前年同月比11.2%の増加となった。また、輸入は「有機化合物」、「半導体等電子部品」などが減少したものの、「原動機」、「通信機」、「航空機類」などが増加したことから、同4.9%の増加となった。

その結果、差引額は132億円の輸出超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,149億円	+11.2%	1,017億円	+4.9%	132億円	+107.3%
	5カ月連続の増加		21カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率		
輸出	増加品目	(1)原動機	68億円	+25.6%	輸入	増加品目	(1)原動機	219億円	+24.6%		
		(2)家庭用電気機器	35億円	+42.4%			(2)通信機	39億円	+198.7%		
		(3)電気計測機器	73億円	+16.5%			(3)航空機類	46億円	+64.1%		
	減少品目	(1)自動車の部分品	29億円	▲43.6%		減少品目	(1)有機化合物	1億円	▲97.3%		
		(2)金属製品	20億円	▲19.8%			(2)半導体等電子部品	138億円	▲23.2%		
		(3)電気回路等の機器	50億円	▲7.7%			(3)医薬品	63億円	▲35.2%		
	主要地域 増減	アジアが増加、アメリカ、EUは減少				主要地域 増減	アメリカが増加、アジア、EUは減少				

（参考）ドルレートは、154.61円（前年同月比4.3%、6.43円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。